

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

※受理番号 28-168	学 校 高等学校	教 科 外国語	種 目 英語表現Ⅱ	学 年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	英Ⅱ 327	MAINSTREAM English Expression Ⅱ Second Edition		

### 1. 編修の基本方針

教育基本法第一章「教育の目的及び理念」の第一条「教育の目的」・第二条「教育の目標」、および高等学校学習指導要領第2章 第8節「外国語」の第1款「目標」を実現するために、次のことがらが可能になるように編修することを基本とした。

- ①日本人、世界市民として21世紀に生きるうえでのコミュニケーション力（特に表現力）の基礎を築くこと。
- ②知識・理解にとどまらず、技能の習得・定着を図り、考え表現する力を伸ばすこと。
- ③わかりやすく学習しやすい素材と手順・方法を提供することにより、学習への意欲や英語への興味・関心を高めること。  
上記の趣旨を踏まえ、次の7点を基本方針とした。
- ①生徒がさまざまな話題について学ぶことができるように、バランスよく話題の選択をすること。そのために、日常生活、学校生活、地域・社会や世界の問題を幅広く扱うよう配慮した。
- ②さまざまな話題を扱うために必要な語彙・表現を提示すること。そのために、本文の側注に **Expressions, For Your Use**, 巻末に **For More Use** といった欄を設けて生徒の言語活動を補助できるようにしてある。
- ③知る→考える→表現するという手順を踏まえながら、知識や理解したことを運用できるように持っていくこと。「知った」ことがらは「使う」ことで定着する (*intake*) という考えに基づき、学習したことを生徒自身が使えるような練習を用意し、考えたり表現したりできるようにしてある。
- ④大きな枠組みとして、まずは音声を重視する内容から始め、文字を重視する活動へつなげていくこと。主として「話すこと」と「書くこと」を目的としている科目であるものの、学習指導要領の「内容の取り扱い」にもあるように、「聞くこと」や「読むこと」と関連させて指導するようにしてある。
- ⑤コミュニケーションをする必然性のある状況設定をし、生徒の学習への動機付けを高めるような活動を用意することで、より積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。「状況」は「場面」に限らず、話したり書いたりする「形式」(プレゼンテーション、ディスカッション等) といったことも含めて配慮してある。
- ⑥各課において、最終的にはきちんとした文章を「書く」ことを目指すこと。そのために各課で「表現するための文法」を学習・練習できるように構成した。
- ⑦さまざまな生徒や教員に対応できるように、教科書・付属教材等ともに工夫を施すこと。

### 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson 1	自己紹介のスピーチ原稿を書く上で、自分の趣味や特技、興味・関心を取り上げ、自分という人間を改めて客観的に見ることで、今後の自分、将来の夢についても考えさせる。オーストラリア人学生のスピーチを聞き、その原稿を読むことで、自分の好きなことを将来の夢につなげられる可能性について意識させる契機にしようとした。 (第2号)	7頁～9頁
Lesson 3	自分の将来について心配している女の子のスピーチを聞き、その英文を読むことで、生徒自身の将来についても	15頁～17頁

	考えさせる。(第2号) 自分の心配ごとをクラスメイトの前で発表し、他のクラスメイトの心配ごとに関するスピーチを聞くことによって、お互いにアドバイスし合い、相互に助け合うことの大切さを学ばせようとした。(第3号)	
Lesson 4	校長先生になったら学校をどうしたいかについてスピーチをするという活動を通して、学校内の問題点とその改善点を考えさせ、自らの属するコミュニティーの自治という感覚に目を向けさせるようとした。将来、社会の参画者となることを自覚させる契機となるよう配慮した。(第3号)	19 頁～21 頁
Lesson 6	日本の都道府県から1つを選んでプレゼンテーションするという活動を通して、我が国について学び、当たり前すぎて見落とされがちな美点を再認識し、この美しい国に生まれてよかったと誇りをもつ契機を与えられるよう配慮した。(第5号)	77 頁～81 頁
Lesson 9	家族ルールについて話し合うという活動をさせることで、それぞれの個人、そしてその背景の家族の個性を認識させ、その違いを尊重して認め合う姿勢をとる手助けができるよう配慮した。(第2号) 社会における最小単位である家族という集団の中で、個々人が家庭内において果たすべき役割や責任、義務について考えさせる。互いに協力し合うこと、ルールを守ることの大切さを気づかせる契機としたい。(第3号)	46 頁～51 頁
Lesson 11	地球のためにできることを考える、という活動を通して、自らの小さな行動であっても社会を変えることができると気づかせ、主体的な社会人として公共社会のために行動できる態度を養おうとした。(第3号) 地球のためにできることを考える、という活動を通して、環境問題への意識、自然を大切にしようという意識を涵養できるよう配慮した。(第4号)	62 頁～67 頁
Lesson 12	動物園は動物にとってよいものかどうかを考える、という活動を通して、動物たちが置かれている状況や、それを取り巻く環境、また、人間と動物の関係について考えさせ、自然の保護、自然との共存について考えさせたい。(第4号)	72 頁～77 頁
Lesson 14	英語を日本の第二公用語とすべきか否かを考えるという活動により、日本国内にもさまざまな国の人がおり、日本も国際社会の一員であると認識させようとした。さらには、他国の人々も尊重しつつ国際社会の発展を図るにはどうすべきかを、公用語という側面から考えさせるよう配慮した。(第5号)	83 頁～87 頁
Lesson 15	日本人の名前の英語表記について考えさせることで、名前というものが持つ意味、そして、今後よりいっそう国際化が進んでいく社会の中で、日本の伝統と文化をいかにして守り、日本人としてのアイデンティティをどのように確立していくべきか考えさせたい。(第5号)	101 頁～110 頁
Lesson 16	遺伝子組み換え食品についての英文を読ませ、その是非についても考えさせることで、食品についての意識を高め、健やかな身体を養うきっかけを作ろうとした。また、食という問題についての背景知識も提供できるよう配慮した。(第1号)	106 頁～111 頁

Lesson 17	死刑制度の是非を問う英文を読み、自分の意見をまとめるという活動をさせることで、情報を知った上で判断するという、単なる感情的なものではない、真の道徳心を培おうとした。(第1号) 公正な処罰、失われた生命への償いとしての死刑という制度について考え、平和で安全な社会を維持するために必要な手段と対処について問おうとした。(第3号)	112 頁～117 頁
Lesson 18	俳句を英語で作るという活動の課を設けた。まず、我が国の文化である俳句について知ることによって自国の文化を学び、さらに、英語の世界で独自に発達した haiku との違いを味わい、尊重する姿勢を養おうとした。国際社会の一員となるにあたり、自国の文化について英語で発信できることはたいへん助けになると考えたため、このような課を設けてある。(第5号)	122 頁～125 頁
Lesson 20	10年後の自分を想像して英文を書く活動をさせることで、職業についても考えさせる契機を与えた。また、131ページにおいては、自己の好みを分析した上で、どのように他の人々の役に立てるかということも視野に入れてなりたい職業を選ぶ女子生徒の書いた英文を紹介することで、他人、社会との関わりも考えた上で勤労を重んずる態度を養わせようとした。(第2号)	130 頁～131 頁

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

上記の趣旨を踏まえ、次のような点にも留意した。

- ①全体の構成としては、Part 1-4 では、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートそれぞれの活動に加えてライティング活動も行い、Part 5-6 ではエッセイや創造的な英文を書く活動をするというように、主に活動内容の観点からパートを分けた。また、Part 1-4 の各パートにおいては、身近な話題から徐々に社会・世界を視野に入れたものへと発展していけるよう配慮した。
- ②各課は、題材内容と言語材料（文法事項）を密接に関連させるように構成し、両面で効果的な学習が可能ないようにした。
- ③Part 1-6 (Lesson 1～Lesson 20) のいずれの課においても、ライティング活動を用意した。音声面についても、導入の Warm Up でリスニング活動を取り入れ、さらには、Speaking & Listening Project を全6回用意し、「書く」「話す」いずれの活動も十分に行えるだけのインプット、アウトプットの量を確保できるようにした。
- ④各課の構成は Part によって次のようにした。
  - Part 1-2 (Lesson 1～Lesson 8)
    - 1) Warm Up: 課の導入として、対話活動とリスニング活動を行う。
    - 2) Model: 課の題材内容・言語材料を学習する。
    - 3) Skills: スピーチ [プレゼンテーション] のスキルについて学ぶ。
    - 4) Speech [Presentation]: アウトラインを考えて原稿を書いてから、各課のテーマについてスピーチ [プレゼンテーション] をする。
    - 5) Give It a Shot: 英語を聞いて設問に英文で答える練習をする。
    - 6) Grammar Compass: 各課の Model で学習した文法事項を整理しながら文法を使う練習をする。
  - Part 3-4 (Lesson 9～Lesson 14)
    - 1) Warm Up: リスニング問題やペアでの対話など、簡単な活動により課のトピックの導入をする。
    - 2) Key Text 1, Key Text 2: 英文を読み、各課のトピックについての論点、背景知識を学ぶ。
    - 3) Skill Workout: ディスカッション [ディベート] のスキルについて学ぶ。
    - 4) Preparation: ペアでの意見交換などを通して、各課のトピックについて考えをまとめ、ディスカッション [ディベート] の準備を整える。
    - 5) Discussion [Debate]: 各課のテーマについてディスカッション [ディベート] をする。
    - 6) Expressing Yourself: 各課のテーマについて、自分の意見を英文にまとめる。
    - 7) Grammar Compass: 各課の Key Text で学習した文法事項を整理しながら文法を使う練習をする。

る。

○Part 5 (Lesson 15～Lesson 17)

- 1) **Introduction:** 各課のトピックに関する問題提起となる短い英文を読む。
- 2) **Warm Up:** リスニング問題やペアでの対話など、簡単な活動により課のトピックの導入をする。
- 3) **Brainstorming:** 各課のテーマについて、両方の立場の意見を考え、それを指示する資料探しも行う。
- 4) **Key Text 1, Key Text 2:** 英文を読み、各課のトピックについての論点、背景知識、ならびにライティングのコツとなる表現を学ぶ。
- 5) **Preparation:** 練習問題を通して、各課のトピックに関する表現や、ライティングで使えるテクニックを身に付け、エッセイライティングの準備を整える。
- 6) **Essay Writing:** 各課のテーマについて、自分の意見を英文にまとめる。

○Part6 (Lesson 18～Lesson 20)

できるだけ小さなステップに分けて、段階的に各課の目的に応じたライティング活動をする。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
28-168	高等学校	外国語	英語表現Ⅱ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
177 増進堂	英Ⅱ 327	MAINSTREAM English Expression II Second Edition		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

次の3点が可能になるように編修することを基本とした。

①日本人, 世界市民として21世紀に生きるうえでのコミュニケーション力 (特に表現力) の基礎を築くこと。  
 ②知識・理解にとどまらず, 技能の習得・定着を図り, 考え, 表現する力を伸ばすこと。  
 ③わかりやすく学習しやすい素材と手順・方法を提供することにより, 学習への意欲や英語への興味・関心を高めること。

上記の趣旨を踏まえ, 具体的には, 次のような点に配慮した。

- ◆生徒がさまざまな話題について学ぶことができるように, バランスよく話題の選択をすること。そのために, 日常生活, 学校生活, 地域・社会や世界の問題を幅広く扱うよう配慮した。
- ◆さまざまな話題を扱うために必要な語彙・表現を提示すること。そのために, Expressions, For Your Use, For More Useといった欄を設けて生徒の言語活動を補助できるようにしてある。
- ◆知る→考える→表現するという手順を踏まえながら, 知識や理解したことを運用できるように持っていくこと。「知った」ことからは「使う」ことで定着する (intake) という考えに基づき, 学習したことを生徒自身が使えるような練習を用意し, 考えたり表現したりできるようにしてある。
- ◆大きな枠組みとして, まずは音声を重視する内容から始め, 文字を重視する活動へつなげていくこと。主として「話すこと」と「書くこと」を目的としている科目であるものの, 学習指導要領の「内容の取り扱い」にもあるように, 「聞くこと」や「読むこと」と関連させて指導するようにしてある。
- ◆コミュニケーションをする必然性のある状況設定をし, 生徒の学習への動機付けを高めるような活動を用意することで, より積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。「状況」は「場面」に限らず, 話したり書いたりする「形式」 (プレゼンテーション, ディスカッション等) も含めて配慮してある。
- ◆各課において, 最終的にはきちんとした文章を「書く」ことを目指すこと。そのために各課で「表現するための文法」を学習・練習できるように構成した。

## 2. 対照表

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
Lesson 1 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Speech ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.7 ②p.8 ③p.8 ④p.8 ⑤p.9 ⑥p.9 ⑦p.10	5
Lesson 2 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Speech	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c	①p.11 ②p.12 ③p.12 ④p.12 ⑤p.13 ⑥p.13	5

⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	⑦p.14	
Lesson 3 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Speech ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.15 ②p.16 ③p.16 ④p.16 ⑤p.17 ⑥p.17 ⑦p.18	5
Lesson 4 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Speech ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.19 ②p.20 ③p.20 ④p.20 ⑤p.21 ⑥p.21 ⑦p.22	5
Lesson 5 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Presentation ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.27 ②p.28 ③p.28 ④p.28 ⑤p.29 ⑥p.29 ⑦p.30	5
Lesson 6 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Presentation ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, e ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.31 ②p.32 ③p.32 ④p.32 ⑤p.33 ⑥p.33 ⑦p.34	5
Lesson 7 ①Warm Up ②Model ③Sounds ④Skills ⑤Presentation ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	①p.35 ②p.36 ③p.36 ④p.36 ⑤p.37 ⑥p.37 ⑦p.38	5
Lesson 8 ①Warm Up	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d	①p.39 ②p.40	5

②Model ③Sounds ④Skills ⑤Presentation ⑥Give It a Shot ⑦Grammar Compass	②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d ③第2款 第62(2)ア ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑤第2款 第62(1)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, d ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第63(3)	③p.40 ④p.40 ⑤p.41 ⑥p.41 ⑦p.42	
Lesson 9 ①Warm Up ②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Discussion ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第3款 1 言語の使用場面の例 a 言語の働きの例 b, c ③第3款 1 言語の使用場面の例 a 言語の働きの例 b, e ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, b, c ⑤第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第2款 第62(1)ウ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑧第2款 第63(3)	①p.46 ②p.47 ③p.48 ④p.49 ⑤p.50 ⑥p.51 ⑦p.51 ⑧p.52-53	7
Lesson 10 ①Warm Up ②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Discussion ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第3款 1 言語の使用場面の例 a 言語の働きの例 b, c, d ③第3款 1 言語の使用場面の例 a 言語の働きの例 c, d ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑤第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第2款 第62(1)ウ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑧第2款 第63(3)	①p.54 ②p.55 ③p.56 ④p.57 ⑤p.58 ⑥p.59 ⑦p.59 ⑧p.60-61	7
Lesson 11 ①Warm Up ②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Discussion ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②,③第3款 1 言語の使用場面の例 c 言語の働きの例 d, e ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, b, c ⑤第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第2款 第62(1)ウ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 a, b 言語の働きの例 d, e ⑧第2款 第63(3)	①p.62 ②p.63 ③p.64 ④p.65 ⑤p.66 ⑥p.67 ⑦p.67 ⑧p.68-69	7
Lesson 12 ①Warm Up ②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Debate ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②,③第3款 1 言語の使用場面の例 c 言語の働きの例 c, d ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑤第2款 第62(1)ウ, エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第2款 第62(1)ウ, エ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 e ⑧第2款 第63(3)	①p.72 ②p.73 ③p.74 ④p.75 ⑤p.76 ⑥p.77 ⑦p.77 ⑧p.78-79	4
Lesson 13 ①Warm Up	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②,③第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d	①p.80 ②p.81	4

②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Debate ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑤第2款 第62(1)ウ, エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑥第2款 第62(1)ウ, エ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 a, c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 e ⑧第2款 第63(3)	③p.82 ④p.83 ⑤p.84 ⑥p.85 ⑦p.85 ⑧p.86-87	
Lesson 14 ①Warm Up ②Key Text 1 ③Key Text 2 ④Skill Workout ⑤Preparation ⑥Debate ⑦Expressing Yourself ⑧Grammar Compass	①第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第3款 1 言語の使用場面の例 c 言語の働きの例 c ③第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c ④第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑤第2款 第62(1)ウ, エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第2款 第62(1)ウ, エ (2)エ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑦第2款 第62(1)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 e ⑧第2款 第63(3)	①p.88 ②p.89 ③p.90 ④p.91 ⑤p.92 ⑥p.93 ⑦p.93 ⑧p.94-95	4
Skill Real Debate	第2款 第62(1)エ	p.96-97	1
Lesson 15 ①Introduction ②Warm Up ③Brainstorming ④Key Text 1 ⑤Key Text 2 ⑥Preparation ⑦Essay Writing	①第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ③第2款 第62(2)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ④,⑤第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第62(1)イ (2)イ	①p.100 ②p.100 ③p.101 ④p.102 ⑤p.103 ⑥p.104 ⑦p.105	5
Lesson 16 ①Introduction ②Warm Up ③Brainstorming ④Key Text 1 ⑤Key Text 2 ⑥Preparation ⑦Essay Writing	①第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ③第2款 第62(2)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ④,⑤第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第62(1)イ (2)イ	①p.106 ②p.106 ③p.107 ④p.108 ⑤p.109 ⑥p.110 ⑦p.111	5
Lesson 17 ①Introduction ②Warm Up ③Brainstorming ④Key Text 1 ⑤Key Text 2 ⑥Preparation ⑦Essay Writing	①第3款 1 言語の使用場面の例 b ②第2款 第62(1)ア 第3款 1 言語の使用場面の例 b ③第2款 第62(2)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ④,⑤第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d ⑥第3款 1 言語の使用場面の例 b ⑦第2款 第62(1)イ (2)イ	①p.112 ②p.112 ③p.113 ④p.114 ⑤p.115 ⑥p.116 ⑦p.117	5
For a Smooth Flow	第2款 第62(2)ウ	p.118	
Lesson 18 ①Step 1 ②Step 2 ③Step 3 ④Step 4	①第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ②第2款 第62(2)ウ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c ③,④第2款 第62(1)イ (2)イ 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c	①p.122 ②p.123 ③p.124 ④p.124	2
Lesson 19	①第3款 1 言語の使用場面の例 b	①p.126	2



①Step 1	②第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c	②p.127	
②Step 2	③第3款 1 言語の使用場面の例 b	③p.128	
③Step 3	④第2款 第62(1)イ (2)イ	④p.128	
④Step 4	第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 b, c		
Lesson 20	①第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d	①p.130	1
①Step 1	②第2款 第62(1)イ (2)イ	②p.131	
②Step 2	第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d		
Project	第2款 第62(1)イ (2)イ 3(2) 第3款 1 言語の使用場面の例 a 言語の働きの例 c, d, e	p.132-133	1
Speaking & Listening Project ①～⑥	第2款 第62(2)ア	p.23-24, 43-44, 70, 98, 119-120, 134	各 1
Speech	第2款 第62(2)ウ 3(2) 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d, e	p.136-137	
Presentation	第2款 第62(2)ウ 3(2) 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d, e	p.138-139	
Evaluation	第2款 第62(2)ウ	p.140-141	
Paragraph Writing	第2款 第62(2)ウ 3(2) 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d	p.142-143	
Essay Writing	第2款 第62(2)ウ 3(2) 第3款 1 言語の使用場面の例 b 言語の働きの例 c, d	p.144-145	
		計	112